

9月6日(金) 7日(土) 8日(日)

DMM競輪杯・神奈川新聞社杯

FII

本格化した尾形鉄馬のV期待

9月6日から開催される川崎競輪はDMM競輪杯・神奈川新聞社杯として行われるF2のナイター。

1、2班戦は新たな力とS級経験者のぶつかり合いで白熱したレースに期待できそう。特に尾形鉄馬(宮城107期)は今年に入ってから成績が急上昇。17期巧者の杉山悠也(秋田89期)と共に東北勢をけん引。関東勢の中心は城幸弘(山梨96期)で、S級でも活躍した経験値の高い機動型。伊藤慶太郎(埼玉107期)の先行力にも魅力は十分。戦力手薄な南関東だが、地元ホームバンクのベテラン佐藤和典(神奈川70期)の奮起に期待したい。遠征勢は今期から降級した堀僚介(大阪109期)が中心。高い機動力を誇る堀はA級では格上の存在感。吉田健市(愛知87期)が好連係決めれば両者の中近ワンツーム。西日本は畠木努(岡山107期)の先行力が頼みとなりそう。

チャレンジ戦は115期の新鋭が多く参戦しており、各地区の戦力は分散している。優勝争いは激しくなりそう。

A級主力選手

尾形 鉄馬 宮城107期



父の尾形優(46期・引退)の背中を追って輪界入りした尾形鉄馬だが、デビューからしばらくは苦戦の連続。チャレンジ戦で初勝利までは2ヶ月半、初優勝までは8ヶ月を要した。鋭い踏み出しには光るものはあったが、終盤の末の粘りが著しく甘かった。しかし、

コソコソと先行主体の自力勝負で徐々にパワーを付けて、今ではS昇級の圏内に居る。今年はVラッシュで直近の競走得点は95、6点をキープしており、S昇級も視野に入っている。今年4月後半からは連勝を7まで伸ばしてS級特進に手を掛けたほどだ。今シリーズはS級を経験済みの強力な機動型も揃っているが、今の尾形の勢いなら優勝候補の筆頭と言つて過言ではない。

堀 僚介 大阪109期



今期は降級となった堀僚介だが、A級戦では一格上の機動力を披露している。レベルの高い109期のなかで在籍4位、25勝を挙げて卒業しており素質は折り紙付き。わずかに2ヶ月でチャレンジ戦を特昇班でクリアしてデビューから一年半で順調にS級まで登り詰めた。しかし、S級では高い壁にぶつかつた。積極的な攻めを見せ続けていたが、末を欠いて大敗が多く苦戦を強いられた。時折放つまくりに高素質の片鱗を見せることもあったが、末脚の甘さは否めず先行主体に戦つても結果には繋がらなかった。しかしS級終盤には逃げ残る場面が増え、A降級後は力の違いを見せ付けている。S級でもコソコソと逃げてきた成果が実を結びつつある。今期は常に優勝争いに加わって来ることは間違い無い。

城 幸弘 山梨96期



抜群のダッシュから繰り出すカマシヤまくりを中心とした自力型で、S級でも活躍してきた城が今年からはA降級の出場も果たしたが、近年は不調に苦しむ競走得点も急降下。苦しい時期が長く続いている。しかし、この数場所で見れば、緩やかにだが復調の気配が見られる。本人が「練習方法を見直しました。だんだん良くなってきている感触はありますよ」と語る通り、バックを取る走りでも着はまとまってくる。今期初戦の7月宇都宮では得意のまくりで優勝を決めている。ようやく光明が差してきた様子。まだまだ本来の実力とまでは言い難いが、復調のキッカケさえ掴めば一気に上昇する可能性は十分にある。今回も優勝争いの中心になるはずだ。

CR級主力選手

伊藤 奎 福島115期



今シリーズチャレンジ戦の注目株となるのは伊藤奎。高校時代に自転車競技を経験していた伊藤はデビューして既に2度の優勝を達成しており早くも実戦に順応している。師匠の金成和幸(福島88期)は「面倒を見始めたときから、既に完成していた感じだったしね。特に俺が何をしたらという訳でも無く自然に競輪学校に合格してしまつたよ。地脚がしっかりしているタイプです。S級に上がって活躍できる素質はありそうですね」と期待を寄せる。初優勝直後の平塚では、だんだんレースには慣れてきました。持味の地脚を生かせるように力を付けていきた」と語る。まだまだレース内容に反省点もあるようだが、今後の伸びしろは十分にありそう。

小畑 勝広 茨城115期



115期の強力なルーキーが揃う今シリーズのなかで注目したいのが小畑勝広。デビュー2戦をオール連対で迎えた平塚の前検日には「ここまで勝ち上がりはしっかり走れているけど、決勝の内容が良くないですね」とまだまだ納得のいかない様子。かつては徹底先行で鳴らした師匠の須賀和彦(茨城89期)からは「先行型としてやっていくならう」とアドバイスをもらった。走り上がりはバック線を手前で通過する走り、2連対。迎えた決勝戦は同期が相手の3分戦とあつたが、積極的な走り、えに結果は6着と大敗だが、しっかりと先手を奪う走りも魅せた。「いまは先行で力をつけたい」という信念を決勝で貫いた事に大きな意味がありそう。



URBAN BANK
かわさきケイリン

注	▲	◎	×	○	予	想
吉田健市	近藤範昌	堀僚介	松根真	尾形鉄馬	畠木努	城幸弘
愛知	岡山	大阪	東京	宮城	岡山	山梨
87	82	109	90	107	107	96
A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1
2回	4回	4回	4回	18回	4回	3回
1回	2回	5回	4回	1回	2回	4回
4回	4回	2回	2回	2回	4回	2回
18回	9回	11回	21回	3回	11回	12回
0回	1回	0回	0回	0回	0回	0回
0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
25回	20回	22回	32回	24回	21回	21回
8.00%	20.00%	18.10%	12.50%	75.00%	19.00%	14.20%
12.00%	30.00%	40.90%	25.00%	79.10%	28.50%	33.30%
28.00%	50.00%	50.00%	34.30%	87.50%	47.60%	42.80%
0回	0回	12回	0回	2回	9回	3回
0回	0回	11回	0回	5回	8回	6回
94.64	90.57	95.59	90.15	95.91	90.95	91.85

決勝想定メンバー

佐藤和典(神奈川70期) 1着 23.30%
 伊藤奎(福島115期) 2着 12.00%
 堀僚介(大阪109期) 3着 18.10%
 城幸弘(山梨96期) 4着 14.20%
 尾形鉄馬(宮城107期) 5着 75.00%
 畠木努(岡山107期) 6着 19.00%
 吉田健市(愛知87期) 7着 8.00%
 近藤範昌(岡山82期) 8着 20.00%